

# 令和6年度岐阜県高体連 研究員会 事業計画書

## 1 研究テーマ 「部活動の活性化」

学校運動部活動の普及と安全指導にかかわる研究

## 2 研究の目的

学校運動部活動は、生徒の健全な心身の発達により影響を与えるものである。しかしその活動は、時に激しさや難度の高いものを求めるため、健康や安全への配慮が重要となる。このため、岐阜県高等学校体育連盟としては、運動部活動をより安全に実施するために、健康・安全指導のあり方等について研究を遂行するものである。

## 3 事業内容

### (1) 県内研究委員会について

- ・第1回 令和6年6月25日(火) 於 岐阜県高体連事務局内会議室
- ・第2回 令和6年9月17日(火) 於 岐阜県長良川スポーツプラザ
- ・第3回 令和6年11月26日(火) 於 岐阜県長良川スポーツプラザ

### (2) 東海研究委員会委員長会について

- ・令和6年7月12日(金) WEB会議

### (3) 令和6年度第59回全国高等学校体育連盟研究大会(埼玉大会)について

- ・日程 : 令和7年1月16日(木)、17日(金)
- ・会場 : RaiBoC Hall(さいたま市民会館おおみや)
- ・参加者 : 岐阜県高等学校体育連盟 研究部長・委員長・研究委員
- ・発表者 : 浅野 光昭 研究委員(県立大垣養老高等学校 教諭)
- ・全国発表での研究のテーマ

## 岐阜県高等学校バスケットボールの将来を見据えて

### ～リーグ戦導入による高校バスケットボールの活性化～

日本バスケットボール協会(以降JBA)は高校生世代の「競技力向上と競技の普及」につなげるため、全国大会出場レベルを「強化層」、ブロック大会出場レベル「準強化層」、残りの「普及層」の三層構造のリーグ戦構想を進めている。

本県では、令和2年度より、コロナ禍において、県リーグが始動された。日本のバスケットボール界が大きく変わろうとしている今、JBAが挙げている「普及層」に今回我々は目を向けた。

バスケットボールに限らず、部活動数、競技人口の減少は問題視されているが、次世代にバスケットボールの楽しさ、魅力を見出してもらうことは、我々指導者の大きな役割の一つであると強く思う。しかし、先に挙げた現在の主流となっているトーナメント形式の大会では、どうしても「勝利至上主義」に偏りがちなため、トーナメント序盤で敗退したチームは、公式戦での試合経験が少なく、限られた選手しか出場機会を得られない現状がある。

「チームが勝つために自分ができることを見つけ行動する。」それがチームスポーツの魅力の一つということはもちろんのことだが、新たな取り組みとしてスタートしたこのリーグ戦はチャンスだと考える。

今回の研究では、監督・選手がリーグ戦を通して思っていることや感じたことを明らかにし、リーグ戦の成果・課題、改善点等を出し、今後リーグ戦の運営をより良いものにしていくための一助となること、指導者の方々やバスケットボール協会をはじめとする競技に携わる皆様へ伝えることを目的とし、研究を進めることとする。